夕刊

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一個月金八十錢
郵稅 一個月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話二二五番・三三〇〇番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷晉二郎

奉天新京間の 滿鐵沿線農作物 最近の降雨で見直す

【奉天卅日發國通】奉天、新京間滿鐵沿線に於る本年度農作物の作柄概況を見るに植付當時降雨なく概して高温乾燥なりし爲、一般作物の發芽阻害せられ地方に依りては旱魃の憂ひさへ見へたが本月に入り各地共稍々多量の降雨あり最近に於る農作物の成育狀態より推して左程悲觀的のものでなく今後適量の降雨に依り順調を辿れば例年さ大差なき收穫が豫想される

奉天東陵前の 堰堤完成

【奉天三十日發國通】瀋陽、新民、遼中三縣に亘る數萬の農民の爲奉天省が十四萬元の工事費を以て二千名の人夫さ七旬の日子を費して新しく開いた東陵前の新開河口竣工式は三十日午前十一時より同所に於いて擧行された、參列者は日滿鮮人關係者三百名に達し午後一時壯嚴裡に式は終了、堰の上より渾河を眺めて祝宴が開かれ井上司令官は萬歲を三唱し一同はこれに和し午後一時半散會した

京都帝大總長 小西重直 依願免職

尙文部省では取敢ず總長の事務取扱に經濟學部長山本美越乃氏を任命する事さなつた

谷亞細亞局長 後任は 桑島總領事

【東京三十日發國通】曩に內田外相は有田次官の引退に伴ひ谷亞細亞局長、白鳥情報部長の更迭をも決意してゐたがその後白鳥情報部長はスエーデン公使に任命し、谷亞細亞局長のみは適當の後任者なきためその更迭は後れてゐたが今回愈々現天津總領事桑島主計氏を亞細亞局長の後任さすることに決定、二十九日附を以て桑島總領事に歸朝命令を發したので來月十日過ぎ同氏の來京を待つて正式辭令を見る筈である、尙現谷亞細亞局長は滿洲國大使館參事官に任命されることさなつた

滿洲國權度法 七月中旬公布か

滿洲國權度法は實業部に於て立案中の所此程成案を得たが同法取締規則に就いては司法部當局さ協議中の所卅日之が決定を見、愈々近く法制局に廻付遲くも七月中旬迄には國務院會議に上程參議府の諮詢を經て公布の運びさなる模樣である

完全に安定せざる爲め仕入客の往來僅少、一般華商の疲弊貨物出廻り不振などであるが本年は地方治安の恢復さ共に相當激增振りを見せるであらう

六月下旬 十六港貿易

【東京三十日發國通】大藏省發表六月下旬十六港外國貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	五九、九四九
輸入	四九、〇六六
合計	一〇九、〇一五
出超	一〇、八八三

大アジア聯盟 結成の波に 躍り出た朝鮮人學生

【東京卅日發國通】聯盟脫退を楔機さして大アジア聯盟結成運動が漸く熾烈化して來たが此運動は朝鮮同胞にも波及して今や一切の獨立運動や赤化運動を淸算して日本を盟主に大アジア建設を目指して先づ先決問題に在東京朝鮮人學生のファッショ化を策し、之が爲氣焰を擧げてゐる團体は東亞學生聯盟以下十團体に上つて居り警視廳でもその動向に注意してゐる

小西京大總長 辭任發令

【東京三十日發國通】問題の小西京大總長は病氣を理由さして、鳩山文相の手元に辭表を提出中だつたが、三十日の定例閣議で鳩山文相より諒解を求めた結果、左の如く辭任を決定した

下旬貿易出超

【東京卅日發國通】六月下旬十六港外國貿易

輸出	五九、九四九
輸入	四九、〇六六
出超	一〇、八八三

七年度に於ける 營口の對外 貿易額

【奉天卅日發國通】昭和七年度に於ける營口の對外貿易額左の如し（單位一千圓海關兩）

輸入	一五、四九〇
輸出	五三、一八〇
總額	六八、六七〇
出超	三七、六九〇

これを前年に比較すれば輸入五割一分減、輸出四割四分減さなつてゐる、右原因は治安

滿洲の表玄關 大連から見た 滿洲國發展テンポ（五）

奧地向大連驛發送貨物

品種	昭和七年	昭和六年
穀類	二一、七[illegible]	八、二二〇
野菜果	一七、八[illegible]	一一、二[illegible]
煙草	九、九七四	七、[illegible]
木材	一四、[illegible]	五、[illegible]
石材礦石	[illegible]、六[illegible]	二、[illegible]
石油	[illegible]、七一四	八、六[illegible]
魚類	[illegible]	八、[illegible]
セメント	一三、二四一	三、[illegible]
麥粉	一〇[illegible]、五四四	[illegible]、九[illegible]
砂糖	[illegible]	一〇、九[illegible]
綿絲布	一九、[illegible]	一四、[illegible]
麻袋	[illegible]	[illegible]、一一六
紙類	一[illegible]、三三四	一[illegible]
鋼鐵材其の他金屬製品	[illegible]、七四三	二八、〇[illegible]
其他	[illegible]、五一三	一[illegible]
合計	[illegible]、八二一	四[illegible]

中奧地向け發送高を吟味して見るさその大連港輸入高の增加テンポさ同樣增大して居る

この奧地向け發送高の動きこそ滿洲國の建設事業進行、治安回復による民衆の生活向上さ密接に結ばれてゐるのである

今之を個々の物質について見るさ先づ第一に滿洲國の土木建設事業のバロメーターたる木材、セメント金物等の建築材料は非常な增加振りを示してゐる

更に大連港に輸入された物資のうち、奧地へ向け發送されたものが幾何に上るか。直接建築事業の進行しつゝある奧地の消費高はされ程あるだらうか。これを大連驛の發送高によつて檢討して見やう、尤もこの數量は大連港へ輸入されたもの中、大連での需要高さ再輸入高を除いたものそれに大連で生產されたものさ奧地へ向けられたものさ總量である。

又治安の回復さ共に住民その堵に安んずる結果大衆消費品たる麥粉、砂糖、綿絲布等の輸入は素晴らしい增大振りである

同時に住民の文化生活、福祉の增進を物語つて居る紙類石油類の消費も異常に增加せることが見られる

これ等はすべて滿洲國の王道樂土の建設が着々進展しつつあることを立證するものである

以上の通り、滿洲國の建國以來融和の象徵さして、又日滿民の共存共榮の成果さして日本人の滿洲滯留者は異常な增加を示しつゝある、その數は內輪に見積つても十萬人に達するだらうさ認められる根據がある、また支那人にしても治安の回復、產業の振興さ共に滿洲國內に安住を求むるもの增加する傾向のあることは前述の通りである

また建設事業の進行、民衆福祉の增進を立證する物資消費の增大せることも今更ここに繰返す必要のない明白なことである

斯の如き事實は誰が何さ誹謗しようさも滿洲國の建設が人類の平和さ民福の增進のために必要であつた事を立證するもので何人、雖も平和さ幸福を希望する者の歡迎せざるを得ない所であらう（完）

珠玉を碎く

吉井勇

（高根秀浩畫）

舞臺無斷上映上演禁

（四十三）

舞臺稽古（二）

それはもう舞臺稽古がだん〳〵進んで、第一の『蒙古襲來』が濟み第二の舞踊劇『國貞描く』も終つてこれからいよ〳〵第三の『湖北の戀』が始まらうといふ時だつた。正午頃から始められたのだけれども道具を飾るのに手間が懸かつたり衣裳が間に合はなかつたりしたので、『國貞描く』の稽古が、田島亮氏の位置に成る美しい舞臺の上で演ぜられた時は、もう夜の十時を過ぎてゐた。

「さあ、今夜はいよ〳〵夜明かしですよ」

座附作者の竹柴春葉は、すぐ舞臺端のところに臺本を前にしてひかへてゐたが、『國貞描く』の稽古が終つて冴えたやうな音を立てゝ拍子木を打つてしまふと、傍にゐた英一の方を振り向いて囁つやうに言つた。

「えゝ、御苦勞樣でも夜明しといふことになるかも知れませんよ」

英一はこの古くから劇場の中で生活をしてゐる作者の、深く禿上つた頭を見上げながら、勞はるやうにかう言つてから、

「しかし何ですよ。私のものは三幕にはなつてゐますが、一幕大抵原稿紙で三十枚位づゝだから、さうたいして時間は懸かりませんよ」

「いや、しかし道具帳を拜見しましたが、中々飾るのに手間が懸かるやうな道具ですからな」

「さあ……ちよつと道具がうるさいかも知れませんね」

「えゝ、みんな中々大がかりです」

こんな話をしてゐるうちに、大道具はどん〳〵今まで飾つてあつた『國貞描く』の道具をはらしてゐた。鐵槌の音や、怒鳴り合ふ聲が、姦しく舞臺の上から聞えてきた。そのごた〳〵した舞臺の上に、背廣を着て眼鏡を掛けた、舞臺主任の阪口の色の白い顏が現はれたと思ふと、やがて英一を見付けて、舞臺端の方へ近づいて來た……。

「松本先生……松本先生……」

その聲を聞くと英一は、不圖阪口の方を振り仰いで、

「何だい、阪口君……」

「えゝ、困つたことが出來たんですがね……ちよつと來ていたゞけないでせうか」

「困つたことが……。よろしい、すぐに行きます」

「えゝ、どうぞすぐ……」

阪口はさう言ふと、忙しさうにあたふたと舞臺の奧の方へ引つ込んで行つてしまつた。

英一はそれから、ちよつと二言三言春葉に、今度の『湖北の戀』に就ての注意をしてから、椅子を踏み臺にして舞臺の上に飛び上がると、道具方の動き廻つてゐる間を拔けて、樂屋の方へ急いで行つた。

が舞臺裏の枠に張られた背景が、幾枚も幾枚も立て掛けられてある蔭の所まで來ると、不圖そこにしよんぼり立つてゐる支那の少女の扮裝をした露子に出會つた。露子は誰かから何か言はれてそこに來てそつと泣いてゐる所らしく、その目は潤んでゐた……。

「あゝ、どうしたんです。こんなとこに……」

英一がさう言ふと、露子は始めて氣が付いたやうに顏を上げて、

「あゝ、先生……。あたしもうつく〴〵いやになつてしまひましたわ」

「えゝ、何がです、何が厭になつたのです」

「女優をしてゐるのが厭になつてしまつたんですの」

「それには何か仔細があるんですか」

「えゝ……。だつて京子さんがあんまり酷いことを言ふんですも

世界を擧げて「關税高障壁の中に」
日本のみは獨りこの低率！
外務省で比較發表

（東京卅日發國通）最近印度の綿布關税引上げを始め、英國各自治領及聯邦の高率課税等世界各國が、こゝ數年來關税高障壁を設けてゐる中、日本はその税率著しく低いが、外務當局はこの事實を實證する爲め、各國税率を比較した左の數字を發表した、即ち其數字は輸入總額に對する課税額の割合であつて、各國ともこゝ兩三年來その税率が增々高率となつてゐるに係はらず、獨り日本はさしたる變化無く世界を風靡せる關税高障壁の圏外に立つてゐた觀がある

	一九二七年	一九二八年	一九二九年	一九三〇年	一九三一年	一九三二年
日本	六、六三	七、〇六	六、六四	七、一三	九、〇四	七、五七
米國	一四、一〇	一三、八〇	一三、七〇	一五、九〇	一七、九〇	二〇、一〇
英本國	一〇、一〇	一一、一〇	一〇、八〇	一一、〇	一五、一〇	二三、一〇
佛國	四、九〇	六、八〇	七、六〇	八、一〇	一四、四〇	一八、一〇
獨逸	八、六〇	八、四〇	八、四〇	八、四〇	一一、一〇	一六、〇〇

外交の重點を
自主的經濟外交に
公使館、商務官を增設增員

（東京一日發國通）内田外相は帝國政府の聯盟脱退以來、外交を自主的經濟外交に終始せしめんとして用意周到なる計畫を樹てつゝあつたが、殊に最近に至つて日印通商條約の廢棄に伴ひ、日英問題調整を始め、日英全體の經濟界の建直しを綱領條件とし、以上の諸目的を以て八年度豫算に於て、右に要する經費を大藏省に要求することゝなつたが同計畫は大體次の如し

一、公使館をエジプト、アビシニア、アフガニスタン、コロンビアの四ケ國に新設すること

一、商務官を新京、ニューヨークに增員し、バタビア、バンコック、オタワ、シドニー、カイロ、ウエノスアイレスに新たに駐在せしむること

一、其他近東、南アフリカ、印度、南洋、南アメリカ等にも、公使館領事館を設置してゐない地に、之を新增設し、商務官を增員し、或は新たに駐在せしむること

米國海軍省で
太平洋二根據地主義を强調
我が海軍省の觀測

（東京卅日發國通）米國海軍省が廿九日新海軍政策を發表し太平洋岸二根據地主義を强調してゐるが、海軍當局は左の觀測を下してゐる

正式報告はまだないが有りさうな事だ、新根據地たるジュレーマートには從來も要港部程度の設備があり相當大きな軍艦の修理をやつて居たもので、今殊更聲明したのは今後積極的に擴張すると云ふ前提と思はれる

經濟會議の死命を制す
米國、歐洲ブロックの對立
我代表部注視

（ロンドン二十九日發國通）爲替安定問題を繞る米國と歐洲金本位ブロック諸國との抗爭に對しては、我代表部としては其圏外に立つ立場にあるがこの紛議が經濟會議そのものの死命を制する重大楔機をなすものである點に鑑み伊藤述史、津島壽一兩氏を始め代表部首腦者は各方面に手分けして確實な情報の蒐集に努めこの問題の成行を極力注視してゐる

けふの銀相場

鈔票對金票	一〇三圓八〇
現大洋對金票	九九圓四〇
國幣對金票	九九圓六五
國幣對鈔票	九五圓八〇

在滿朝鮮人の現状（七）
關東憲兵司令部發表

二、大正八年朝鮮に於ける獨立萬歳騷擾事件に關係し滿洲に潛入以來女鬪士として依然不逞行動を繼續せる不逞鮮女南慈賢は近時民族運動衰退し來りたるを慨歎し且無二の同志金東三の死刑宣告説に次で東支東部線方面に根據を有せし民族派首領李靑天の殺害説等の悲報を受け前途悲觀の結果永年憲痒し來れる運動の最後を飾り、天晴女鬪士の名聲を博すと共に沮喪し來れる同志の志氣を鼓舞せんとし、武藤大將を暗殺すべく畫策し武器及其他を準備し新京市内並官邸の狀況を偵察し二月二十三日哈市に赴きたるを哈爾賓總領事館警察署に於て逮捕し更に一味文益國及李春基を檢擧し武器並不穩文書其他各種證據物件を押收し陰謀を未然に防止したり

三、新賓縣境旺淸門附近に根據を有する鮮人獨立團員十五、六名は四月五日午後十一時卅分頃新賓縣城に侵入し鮮人普通學校舍東南方土壘を越へ學校傭人室及教員宿舍に侵入職員及傭人四名を校庭に引出し（後脱出）續いて校舍内宿直室に侵入就寢中の鮮人教師金榮浩（廿一年）を射殺し、更に携行しありたる石油を校舍に注ぎ放火延燒を確めたる後不逞團員は前記土壘附近に集合鉛製手榴彈一個及十數發の拳銃の威嚇射擊を爲し何れにか逃走せり

七、鮮人問題に對する當局の指導方案

滿洲に於ける朝鮮人の指導は現に在住する者に對し先づその生活の安定を計り次に新たに移動するものを指導統制し滿洲國に於ける民族協和の精神に合致せしむるを本旨とし左の要領に依る

（一）在滿日本最高統制機關は關係諸機關と連繫し滿洲における朝鮮人の指導を統制す

（二）朝鮮人の保護統制を容易ならしむる爲勉めて集團化を計り統制ある集團の下に定著せしむる如く指導す、之が爲滿接地方の安定領を講じ次で其他の地方に及ぶ

（三）集團地に於ては漸次團体を組織せしめ且地方的に之を連絡すべき機關を設け各地團体の統制指導を容易ならしむ

關税問題を中心に
我代表部活躍

（ロンドン廿九日發國通）日本代表部では、過去數日間に亘り、石井首席全權自ら英、米兩國首腦部と會見した外、各國代表部と極秘裡に關税問題の下交渉を續けてゐる代表部では之等諸國の名を擧げることを拒避し、別に具体案は提出してゐないと觀られるが關税問題に關し二國協定締結の交渉を行ふ余地があるかなかに就き各國代表部の意向を探つてゐるものと觀られてゐる

天津租界の不當課税に
我當局斷乎排擊

（天津卅日發國通）支那側が去る廿日を以て締切つた各租界内華商に對する營業税徵集に關する申告は日本租界内居住の華商に對しても營業收税は租界辨事處の名に於て申告を强制し來つてゐるので、我が當局は既に佛租界に於て全然これを峻拒し强硬な態度を持してゐるに鑑み、日租界もこれと步調を合せ、假令如何なる手段を支那側で講ずるとも絶對にこれに應ぜしめざる方針を執るに決し、若し支那側にして不當なる行爲に出ずるが如き事あらば、この際は斷乎これを排擊する事となり七月一日より實施の筈の右營業税附課と、これに伴ふ徵集方法如何によつては、或は各界一齊に立つて支那側の不法租に對抗すべく充分の腹を据へて靜觀してゐる

馮と北平との妥協
完全に停頓す
閻錫山を動かす外なしか

（北平卅日發國通）北平當局と馮玉祥との妥協は數人の代表の往復によつて依然繼續されてゐるが、抗日同盟軍の取消に關して一致せず、馮は飽くまで宋哲元が歸還して後、交渉の結果に依つて取消すと主張してゐるので前日何應欽は最後案として

一、同盟軍の名義を取消し、然る後宋哲元を歸還せしめる

二、若しそれが不可なれば、馮自身が兵を率ゐて北平近くに出馬し、直接交渉せよと申送つたが、馮よりは未だに何等の返事もないこれで兩派の交渉は完全に停頓の形で此の上は孔祥熙の北上に依つて閻錫山を動して調停せしめる以外打開策はなくなつた

劉桂堂の副軍長暗殺さる

（北平卅日發國通）劉桂堂の副軍長尚武は前日劉の代表として沽源から張家口に赴いて馮玉祥と何事か交渉中であつたが昨日突然何者かのために拳銃で暗殺された

七月一日よりの産金買上値

七月一日より産金買上法に基く産金買上價格は左の通り變更された産金買上價格一公分（瓦）につき二圓三十九錢

戰區に關する
諸問題協商のため
近く第二次塘沽會議を開催

（天津一日發國通）戰區接收委員會は本日午後省政府に於て委員長于學忠以下委員錢宗澤、魏鑑、劉石孫、李擇一出席の下に正式に成立する事となつた、李際春軍等義勇軍の處置問題に就いては、既に昨日午後五時塘沽發の天津丸で雷壽榮殷同、薛之行の三名が交渉の爲大連に急行したので委員會としては、戰後の現狀を視察、義勇軍問題の解決を俟つて、更に關東軍代表喜多大佐との間に第二次塘沽會議を開き戰區全般の問題に就いて協商の筈である

中央銀行でも利率引き下げ
七月一日から實施

七月一日より滿洲中央銀行の利率は次の如く變更實施されることゝなつた

一、日歩によるもの

預金	金票	從來	國幣	從來
當座預金	二厘	三厘	三厘	五厘
特別當座預金	六厘	七厘	七厘	八厘三毛
通知預金	七厘	八厘	八厘	一錢

貸付		從來
當座貸越	二錢五厘以上	三錢六厘以上
金銀擔保貸付	二錢二厘以上	三錢六厘以上
商品擔保貸付	二錢九厘以上	三錢三厘以上
證券貸付	二錢三厘以上	二錢七厘以上
擔保貸付	二錢五厘以上	三錢二厘以上
割引手形	二錢二厘以上	二錢七厘以上

二、年利によるもの

	金票	從來	國幣	從來
定期預金（三ケ月）	二分五厘	三分一厘	三分六厘	四分八厘
定期預金（六ケ月）	三分	三分三厘	四分八厘	六分
定期預金（一ケ年）	四分二厘	四分五厘	六分	七分二厘

矢崎高級參謀
北平の灯見ゆる處から來た
勇士に聖戰を聽く（四）
地雷火にはね飛さる

千葉軍曹（松野尾部隊）　關内征討戰に於ける山地戰と平地戰の對照を語りたい

前者は灤陽城の戰で、四月に十二日の美しい月光を背にした我隊は前面に聳立つ切開いたやうな山をようし一進又一進名にし負ふ宋哲元主力の前方百五十米の地點に突進した、早くも形勢を察した敵は一齊に射擊を開始した、阿部隊長の閣につんざく「伏せ」の聲と共に舌なめずりしてゐた銃口は一時に火煎を吐いたそれから何時間經過したか解らない、機關銃身が眞赤になつたので小便をかけたことを覺えてゐる、夜明頃大刀を振りかぶつた隊長を眞先に後れじと兵これに續き午前五時頃猛烈な白兵戰の後、ハ陣地を奪取し更にイ陣地を奪取した、一方市坡小隊もロ陣地を占領し、日章旗をひるがへした、山上でホツト一息ついた時、冷い朝風がヒヤリと頰に感ぜられた、味方も相當損害を蒙つたが喜望口以來稀に見る山地戰であつた

平地戰で面白かつたのは、三河の戰で五月十九日朝薊洲を出發、三河に向け前進したところ、橋梁が燒却されてゐたので數十名の兵が素裸で河に飛込み、帆船數隻を繋ぎ合せて見る見る中に架橋工事を行ひ、主力を渡河せしめた

此の時三河城内には、騎隊長の率ゆる敵二千が蟠居し、よもや日軍來るまいと油斷してゐた所へ、南門附近に砲列を布き、つるべ打を加へたので、周章狼狽、白旗を携へた軍使來り「三日間の猶豫を與へよ必ず撤兵す」之に對し「一分の猶豫もならぬ」旨を答へると今度は一日でもいゝからと再び嘆願、その次は、三時間でよいからと泣事を並べて來たが、時間を與へることは、彼等に掠奪の猶豫を與へると同樣な事になるので斷乎之を退け威嚇射擊を加へると、雪崩を打つて敗兵が飛び出し、有名な三河は我軍の手中に歸した、然し、之が必死で抵抗してゐたら、三河も灰燼に歸してゐたであらうことを豫想するに難くない支那軍相手の戰は、機先を制するに限ると思つた

記者　北支の暑さは大變だつたと御察しゝますが、夏服の用意はありましたか

太田軍曹（砲兵隊）　酷寒から盛夏への移行は、戰場の我々には殊の外嚴しく感ぜられた

喜望口占領後、間もなく南熱河の山間に春らしいものが訪れ、長城を背景に、杏花亂れ咲き、聊か懐しい北海道をしのばせるものがあつたが、關内進出の命令下る頃から、俄に氣温上昇、攝氏百度を突破し、夏服の用意はあつたが、行軍の我等を少からず苦しめたものだ、だが苦痛を感じる時我々は服部部隊長閣下の姿を想起した、夫れは閣下が夏服の持合せなく、あの大きな体を我々と同じ兵の着る褐色の肩章のないバンドかけの付いた夏服を着て居られる姿だつた、「少將閣下が痛ましい」と思ふ心の一面非常に親み深く感ぜられ、我々から灼熱の暑さを吹き飛ばしてくれたことは、忘れ得ぬ思ひ出の一つであつた

記者　有益な御話を澤山承り有難う御座いました、時間の都合で全部御聞き出來ないのが殘念ですが、これで散會致します

その日く

□帝國政府、外交方針をいよく自主外交に轉換、何ぞその遲かりし

□米國海軍。太平洋根據地の完成を急ぐ、いつの日か日米戰爭發れざるか

□「對立觀念の上に生ずる革命は否定する」と血盟團の一人悔悟

□西公園の魚釣りけふ解禁、大衆望をきめこむ前、軍部に感謝せよ

人事往來

▲福田二等主計正外十名（拉哈衛戍病院長）三十日午前八時三十分奉天へ
▲大津中佐（電信第〇〇隊長）三十日午後七時五十分來京
▲孫黑龍江省長同上
▲吉田博士（哲學）三十日午後六時五十五分來京
▲岩城中佐（自動車學校）三十日午後四時三十分奉天へ
▲岡田大佐（技術本部）同上
▲榮厚氏（中央銀行總裁）一日午前九時奉天へ
▲山成中銀副總裁同上
▲熙財政部總長同上
▲星野總務司長（財政部）同上
▲田中理財司長同上
▲松田處長（主計處）同上

團体

▲咸鏡北道水產組台主催團十四名一日午後三時二十五分來京同上四時三十分奉天へ
▲新潟市參事會員團十一名一日午後二時二十五分來京同四時三十分大連へ

軍用犬育成を大々的にやる
近く遼陽に育成所を設置
關東軍でも支持す

一昨年九月十八日北大營攻擊に際し軍用犬ナチ、金剛、メリイー等が勇敢なる行動を以て壯烈なる戰死を遂げた事は有名な話である

『爾來』軍隊に於ては警戒鐵道巡察、斥候、傳令、衞生等に使用すべく飼育して居るが日本內地に於ては近來一部富豪の愛玩物として一頭に萬金をおしまぬ狀態である、滿洲では軍事は勿論其他の方面に實用に使用され民間では稅關として阿片の密輸者の發見に、又撫順では石炭泥棒の防止に盛に使用されており、周水子大連の軍用犬育成所に於ては數百頭の養成を見、近く鐵路總局でも育成する計劃を立てゐる、軍部側では現在奉天獨立守備隊で育成してゐるが近く遼陽に大規模の育成所を開設し、又一方滿洲國側も其の必要を感じ在來の蒙古犬の育成を研究中であるが蒙古犬は鼻感の度に於てチハヤにおとる點がある、民間では大連に愛犬同志會、全滿愛犬俱樂部

『新京』にも愛犬俱樂部等を設けてゐるが、今回滿洲軍用犬協會を設立して大同團結をする事に決定したので關東軍でもこれに對して後援、支持する筈である

旅客サービス打合せ

新京鐵道事務所では旅客サービスに萬全を期すると共に內規打合希望事項聽取のため一日午前九時より新京驛貴賓室で管內旅客事務打合會を開催した、同會議には新京、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、范家屯、昌圖、双廟子、郭家店、各驛長各驛助役、及驛手各一名、列車區長新京事務主任が出席した

滿鐵慰問列車 今度は奉山線へ

〔奉天三十日發國通〕曩に瀋海沿線各地を巡回して豫想以上の效果を收め歸奉した鐵路總局の慰問列車は、下奉天總站ホームにて食料品、醫療品など其他慰安品の積込みをなしつつあるが今回は奉山沿線慰安を爲すもので、先づ七月八日朝總站を出發、今次は食堂車に奉天大和ホテルよりサービスガール三、四名を乘込ます計畫もあり、巡回期間は三十二、三日間で日程の都合上營口支線打通線などへは廻らず山海關に直行の豫定である

鹿兒島第二師範視察團

鹿兒島第二師範學生八十六名の滿蒙視察團は二日午前六時着列車で來京直に南嶺を見學滿洲國文敎部を訪れ軍司令部に敬意を表し同十二時四十分發列車で南行

木造建築は絕對免りならぬ
今後は見つけ次第嚴罰
從來のも撤去さす

滿鐵地方事務所の建築規則を無視し最近續々として木造家屋が建築されるためこれが取締に當局は手を燒いてゐるが三十日滿鐵地方係では荒木地方事務所長、山口地方係長、阿部土地主任、新京署から倉田司法主任、井上保安主任と勘崎地方委員會議長、德丸副議長の七氏が集合し協議の結果七月一日以後木造家屋を建築したものは嚴罰に處し且つ撤去せしめ今迄立ち並んだ白餘戶に對しては充分な調査をしたのち撤去を命じる、其調查委員には地方係と警察署から事務員を出し共同調查をすることになつた

東京見本市 六日來京

滿洲に東京商品の進出を企圖し、今回新に組織された東京商品鮮滿見本市旅行團矢野恕氏を團長とする二十名は東京商品の宣傳普及を計る爲大連奉天、新京、ハルピンの各地を巡回することとなつた、同旅行團は新京に六日朝着京の豫定である

全滿普通學校長會議
十月初旬安東で
朝鮮人學童敎育問題討議

滿洲國創建と共に國內に移住する朝鮮人は益々增加する一方朝鮮人學童も激增の傾向あり、これを機會に彼等に確固たる國家觀念の普及其他敎育實施の決定が焦眉の急にされるや去る二十四日ハルピン滿鐵クラブに於て安東、撫順、奉天、鐵嶺、四平街、新京、ハルピン、開原の各普通學校長參集、協議の結果として十月初旬安東に於て全滿普通學校長大會を開催、同大會にて具體案を持寄り討議、今後の方針を決定する事になつた

血盟團公判
軍部側の秘事も暴露

〔東京三十日發國通〕三十日午後一時半より再開された血盟團公判に於て四本は七高を經て東京帝大に入り、上杉博士の『薰陶』を受けたこと略歷を述べ井上日召に會つてから、その思想を知るに及んで深い尊敬を拂ふに至り、國家改革の主張に共鳴、牧野內府暗殺を擔當したが、內府官邸の警戒嚴重で一人では手薄のため日召と協議し田倉を補助にし、昭和七年二月十日、日召よりブローニング短銃を受け實彈五發を添へ田倉に渡し、內府官邸附近の三田ホテルに泊り込ませて內府の動靜を探らせた父小沼が井上前藏相を暗殺するや、田倉と森に京都に歸り當局の眼をくらませと命じたと述べ、更に語を次いで軍部側の同志は政黨財閥のみならず、軍部內に不當不正の勢力を張る軍閥をも掃蕩すべく計畫してゐたと軍部側の秘事をも暴露し、最後に現在の自分は他人も我も一つのものと悟るに至り對立觀念の上に生ずる革命は全て之を『否定』する今は自己を完成して行きたい慾念で一パイだと日召や古內と異つて有神論に立ち歸り悔悟の程を明かにした、午後四時十分閉廷、次回は三日の豫定

皇后陛下御懷姙
四ケ月に亘らせらる
八月二十四日御內着帶式

〔東京卅日發國通〕侍醫頭佐藤博士の最近の拜診に依ると皇后陛下は御懷姙四ケ月に亘らせられ八月二十四日第二の戌の日の吉日には五ケ月となる故御內着帶式を行はせられるが天皇陛下の海軍演習の御都合に依つてはこれ以前に繰上げらるる御模樣である

兩陛下の御近情を
謹んで語る鹿兒島總務課長

〔東京卅日發國通〕宮內省鹿兒島總務課長は昨日午後一時左の如く謹んで語る

兩陛下には益々御健勝で十二日葉山御用邸に行幸啓を仰せ出された、今回は例年に比し長期の行幸啓をお願ひ申し上げた　天皇陛下には同地御駐輦中八月下旬約一週間海軍特別大演習御統裁の爲行幸の御豫定である　皇后陛下には最近御目出度き御兆候を拜せる趣きであるが、事實とせば此上もなく喜ばしきことで隨つて御滯在中も萬事に御注意遊ばされる御豫定と承る

暑さにつけ込んで
列車泥棒激增
當局躍氣となつて犯人搜査

最近の酷暑に伴ふ旅客の心身の弛緩につけ込み、列車內の盜難事項が急激な勢で『增加』するので之に對し警察署滿鐵では防止に萬全を期してゐるが、二十七日午後四時三十分新京發第十四列車が范家屯驛到着前午後五時ごろ派遣車掌が前から三輛目三等車の檢札に來たので滿鐵勤務張某(二十七)は無賃乘車券を呈示せんとして、金票十四圓、大洋十一圓三十錢在中の財布及乘車券の紛失してゐるのを發見、直に警乘警察官に通告すると共に各驛に手配を依賴したが犯人不明、又二十六日午前八時新京着第十三列車が午前三時三十分ごろ昌圖、四平街間にて後部より三輛目三等車乘客新京吉野町二丁目石積善次氏同妻タミさん(何れも假名)が就眠中『何者』にか現金十五圓、新京奉天間乘車券二枚、急行券二枚在中の小豆色ハンドバックを盜まれてゐるのを發見、旅客專務及警乘警察官に屆出たので車內を調べると共に各驛に手配を行つたが犯人逮捕に至らなかつた

無斷家出で搜查願ひの山
新京署轉手古舞ひ

暑さのかげんか最近續々として家出人の捜査願が新京署保安係へ屆けられ係員は整理に忙殺されてゐる、一日到着した捜査願は內鮮人合して卅七名內內地人が卅名の多きに達してゐる、この卅人の願書を見ると氣の毒なもの又は惡性極まるものがあるその內主なものを見ると主人の不在中家財道具を賣拂ひ無情にも愛兒を置き去つて若い燕と姿を消した不貞の妻に對する夫からの願、藝妓、酌婦、女給が前借を踏倒し足拔き主人の金を橫領し行方不明、若き娘の家出等である、各地方別に見ると內地各地男九人、女七人、朝鮮各地男三人、女四人、樺太男一人、滿洲各地男六人、女六人、天津男一名である

飲馬河附近で邦人殺さる

吉長飲馬河驛前居住邦人齋藤某が何者にか殺害され居るを近隣の者が發見一日朝七時頃新京總領事館へ訴出て來たので泥谷部長、富田刑事の兩名が八時發列車で現場檢證に急行した

舊東北政權の
賣掛代金第二回支拂
七月十日と決定

〔奉天卅日發國通〕舊東北政權當時日英其他諸外國に對する賣掛代金總額一千二百萬圓を『補償』する爲滿洲國政府に於いては積缺委員會を組織し昨年十二月既に第一回三割五分を支拂つたが、其後引續き調查中であつたが愈々最後的決定を見たので二十四日新京中央部に於て各國債權者代表會議を開催、第二回分二割を支拂ふ事に決定したので二十七日奉天に於て各債權者全部會合愈々七月十日之が支拂ひを受ける事となつた、即ち第一回三割五分、第二回二割、合計五割五分總金額六百五十萬圓を滿洲國に於いて補償するわけである、右支拂ひ方法は民國十八年以前の未納品既納品全部公債、十九年以後の未納品は公債既納品は現金で支拂ふが『現金』で支拂はれるもの二百五十萬圓、公債は四百萬圓である、因みに日本側債權者の受ける額は五十九萬三千圓である

けふ解禁
西公園潭月池の釣魚始まる
前夜から詰掛けた太公望
さて獲物は上々

太公望連には待ちかねた西公園潭月池の釣魚も七月一日を期していよいよ解禁されたがさすがに解禁第一日の景氣はすばらしいもの、前夜ボートの終る午後十時を待ちあぐんで詰めかけた者も尠くなく早速『釣竿』をおろして夜の更けるのも知らぬ顏で熱心に糸を垂れてゐる、定刻午前三時夜のしらむ頃にはもうなかなかの賑ひだつたかさて今年の獲物は近頃魚族缺乏の聲に鑑みて公園で特に繁殖に留意した結果か至つて成績良好でこれもこれも大滿悅の態である太公望連の顏觸れを見渡すとやつぱり毎年の常連が多かつたが公園事務所に聞くといま帳簿に上つてゐるのが六十三名はかに優待券所持者も大分あるがしかしこれからだんだん殖えて來るのです『今年』はうんと多からうと豫期してゐましたが何分商人はお金儲けに忙しいため好きな釣りも出來ないといふ始末らしい、今年の魚もそれはくずいぶん澤山ゐますよと釣魚證代は金四圓、時間は毎日午前三時から正午まで、一人で釣竿二本以內といふ規定である

カルネラ シヤーキーを破る

〔ニューヨーク廿九日發國通〕本夜伊太利のカルネラは現世界重体量選手權保持者シヤーキーと對戰、六回目に見事にノツクアウトし選手權を奪つた

新京辛勝 對大連國際戰

8A―7

新京對大連國際運輸の野球試合は三十日午後四時四十分から新京西公園球場で球審赤松、壘審疋田二審制の下に國際先攻で開始された、兩軍接戰を交へ八A對七で國際惜敗した 閉戰六時四十一分兩軍得點メンバー左の如し

										計
新京	8	0	0	0	4	0	1	0	A	8A
國際（先）	0	0	0	0	1	4	2	0	0	7

三木シングルスに敗る

（ブルドン二十九日發國通）全英庭球大會二十九日の結果

△シングルス第三回戰
ウアインズ(米) 六…二 六…四 六…四 三木

△ダブルス第一回戰
布井 佐藤 六…三 六…四 六…四 デ・クーリング(ハンガリー) マイエル(スペイン)

いよいよあす
東京大相撲の幕開く
橫綱玉錦以下一行三百名
明朝八時乘り込み

好角家が待ちに待つた東京大相撲玉錦一行三百名はいよいよ明二日朝八時着列車で四平街から『來着』する各最負筋や勸進元聖德會さては花柳界などの華々しい出迎へを受け別項割充ての旅館に入り休養、同日を初日に新京神社境內で晴天二日の興行に龍攘虎搏の壯烈無比な大角力が觀られる譯であるが、氣づかはれた空模樣も廿九日、卅日さらに驟雨なく今日も早朝から晴々しい相撲日和であつたから此分では大人氣は大丈夫と思はれる、何かさて俄かに膨脹した新京の昨今、相撲觀る人も多くなつたは勿論であるが前人氣は頗る好く前賣券がすばらしく捌けつゝあるといふから忽ち係員の盛況を見せることであらう、初日二日目とも正午頃から稽古相撲が始まり午後三時頃から割相撲に入つて打出しは八時半の『豫定』であるから勸め人も少し早びけで行けば肝腎な面白い取組が見られる、各力士、行司その他の宿割は左の如くである（寫眞は橫綱玉錦、大關清水川、大關武藏山、前頭若葉山出羽ケ嶽）

旅館	力士
都ホテル	春日野
大和旅館	若葉山
富士屋旅館	玉錦
愛國旅館	清水川
西村旅館	若藤
同	越ツ海
梅屋旅館	林之助
同	笠置山
白石旅館	伊太助
同	善ケ郎
大丸旅館	熊谷
同	鏡岩
同	土洲山

同 同 北滿旅館 同 同 同 協和旅館 同 同 同 同 協和旅館 常盤旅館 同 京都旅館 同 同 同 同 日本橋ホテル 萬屋旅館 同 喜久屋旅館 宮 大丸本店 同 杉山旅館 大和旅館 大賓館 同 同 同

御光山 眞之助 秀の山 出羽ケ嶽 綾若 放駒 濱風 たなの浦 幡瀨川 綾櫻 新海 富の山 開月 太郎山 寶川 和歌島 出羽の花 可愛嶽 津峰山 洋の花 若瀨川 重政 庄三郎 大郎山 呉錦 九州山 伊達花 栃の森 小野ケ嶽 桂川 初島 番神山 三熊山

小林少將からも優勝カツプ！

東京大相撲の人氣はすばらしく刻々に熱度が昂まりつゝあるが、第一日のトーナメント戰には栗原總領事カツプ、第二日のトーナメント戰には荒木地方事務所長盃が寄贈されることゝなつてゐるところへ更にまた、駐滿海軍部司令官小林省三郎少將からも優勝カツプを與へられることゝなりこれはトーナメント戰第一日と第二日の優勝者を組合せこの勝者に小林カツプを授與に決定した

吉川牧師夫人逝く

新京日本基督教會牧師吉川二郎氏夫人操子さんは病氣中の處一日午前四時死去享年三十二才二日午後三時中央通り教會で林牧師司式の下に告別行が執行される

日の出を拜するつどひ

二日(日曜日)朝三時三十分より西公園誠忠碑前にて（新京日出時刻四時一分）

ラジオ欄

二日(日)
新京 前一一、五〇―一二、一〇 講演「滿洲ニ於ケル建築ニ就テ」關東軍經理部技師原田廣
新京 後四、〇〇 レコード
同 後四、三〇 演藝
同 後五、〇〇 時事解說
同 後五、三〇 ニュース（滿洲語）
東京 後六、〇〇 ニュース東京中央放送局編輯
新京 後六、二〇 演藝又ハ講演
同 後七、〇〇 レコード
同 後七、二〇 ニュース（朝鮮語）
同 後七、三〇 ニュース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
同 後八、〇〇 演藝
東京 後八、三〇 時報
同 後八、三一 ニュース東京中央放送局編輯
新京 後八、四五 時事解說 新京附近ニ於ケル渡滿朝鮮人ノ狀況 新京朝鮮民會理事金龍王

幕末異聞　愛慾火箭（百）

作　瀧川駿　畫　村瀨洗舟（上演上映）

夜駕籠の客（二）

『これでも喰へ！』

關取は、駕籠の棒をひき拔いて振り廻す。衆の多數をたのんで斬りつけた刺客の衆も、この加勢には驚つたらしい。

何しろ相手は一丈に餘る、棒きれを振廻すので近寄れない。うつかりその片端でも喰はう物なら命がないのであつた。

ひゆんと唸つて棒は闇の中で廻つた。藝者達はこのなり行がどうなる事やらと、片唾をのんで見物してゐた。

『おいどんが、後の事は引受けます。どうかお逃げなさい』

『では厚意に甘へて……』

その侍は、一方の血路を開いて逃げた。

肝腎の相手を逃がされた面々、この力士を大勢で斬り殺しにかゝつた所で益のない事、さりとて逃げ行く男の後を追はうとすれば、駕籠の棒が唸つて來る。

『先づ、引き揚げい』

一人の男が斯う叫んだ。尤も足が利巧な策に違ひなかつた。

その聲を待ち兼ねてゐた覆面の侍達は、闇の中へ消えて行つた。

後のぬかるみには、櫻の小枝と駕籠の棒を喰つた覆面と、前棒の人足とが轉がつてゐた。

『流石は佐瀬ヶ嶽關、美事なものでございますね……』

傍で默つて、見物してゐた藝者が感心した。

それはおせじでなく眞實に美事に違ひなかつた。何十人か取り卷く中に、棒を振り廻してゐるのだから……

『二長町の大詰のやうだつたわね』

ませた口で、雛妓が斯う言ふ。市村座の初春狂言のめ組の喧嘩より眞に迫つてゐるだけ面白い。

棒きれを、やけに溝へ、はうり出して、

『おい、皆な出掛けやうぢやない』

今の働きに、息も崩さず佐瀬ヶ嶽關は言つた。

その中の一人の藝者が、ぢつと逃れて行つた侍の方角を見詰めてゐた。

『秀奴さん、どうしたの？』

朋輩らしい藝者が、その女の背後から聲をかけた。

『まあ、何を見てゐるのさ』

この聲に、はつと氣の附いた秀奴と呼ばれた藝者。

それは先日、神田明神で與四郎に危ない所を助けられた女だつた。

『今のお方、何處かで確に見かけた事があるのだけれど…？』

『今の方つて？』

『それ今し方、關取に助けられたお武家！』

その頃、小梅村、源森橋の傍にある儒者――學者兼醫者。大槻訥庵の住居を訪れた、一人の男がゐた。

『お待たせいたしました』

出迎へたのは、當家の內儀おかねだつた。

掛け鐘を外して、雨戸を颯とひらいた。室內から洩れた光りにその侍の顏が、描き出された。

それは、衛門與四郎であつた。ひどく衣紋の崩れが見えた。そして身體中、眞赤に返り血さ染まつてゐる――。

『まあ、どうしたのです？』

その格好に驚いて、妻女のおかねが訊いた。

『いつもの例で……』

『まあ、危なうございます。精々氣をおつけになつた方が宜しうございます』

裾をヅッた小紋の着物に、黑繻子の帶を結んだ三十女。かねをつけた齒が、笑ふ拍子に艶っぽく光つた。

『皆さん、お待ち兼ねでございますよ』

かね女は、與四郎の手をひかぬばかりに、奥へ案內した。

そこには、攘夷浪士一味の者が與四郎を待ち兼ねてゐた。

七月二日　日曜　閏（七）月（有）二十日　己巳　友引　閉　房宿

●一白の人　難事も努力次第にて通達する事を得る吉日　辰と庚　酉が吉

●二黑の人　變轉極りなく意外の驚を見る事あり起率凶　庚と戌と艮が吉

●三碧の人　目上の意見を容れて萬事を切り廻せば平安　未と壬と癸が吉

●四綠の人　順調に安んずれば半途に障碍を起し易き日　巳と坤と子が吉

●五黃の人　我意を愼しめば長上よりの引立ありて平穩　甲と丁と辛が吉

●六白の人　重荷を負ふさも辛抱強く緩々と進むべき日　丁と申と戌が吉

●七赤の人　內輪揉めの多き日外事には差支なし病注意　卯と庚と亥が吉

●八白の人　焦れば急轉不利の恐れあり燃ゆる心を壓へよ　甲と卯と乙が吉

●九紫の人　無理をせざれば希望も通る病厄盜難に注意　乙と辰と亥が吉

〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一個月金八十錢 郵稅一個月金五十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話三〇〇番・二五二三番
發行人 十河榮男
編輯人 松本啓二郎
印刷人 谷

金本位擁護宣言に 各國全權同意を表明
經濟會議の空氣幾分緩和か

〔ロンドン卅日發國通〕爲替安定問題を中心に數日以來重大危機を續けて來た、經濟會議は卅日夜に至りマツク議長始め各國全權團の接衝奏效し歐洲金本位國擁護に關する金本位ブロツク諸國の宣言草案を完成し、英、米兩代表部も之に同意したので之を米のルーズ大統領に打電し承認を求める段取となり形勢は幾分緩和された右宣言草案は金本位ブロツクを代表するフランスのボンネ藏相を始め英、米、伊等各代表を混へ最後的重要協議を遂げた結果四代表の間に意見一致したので、之が全文をワシントンに打電したものである

斯くて爲替安定問題の解決はルーズ大統領の回答如何にかゝる事になつたが、全權團に關する限り各國共に右宣言に同意するに至つた結果、米代表部と歐洲金本位ブロツク諸國との對立は漸く解消し、會議の空氣は見直した形である、斯くてルーズ大統領の回答は俄然會議の運命を決するものとして異常な緊張裡に待たれてゐる

日印會議は 英國で開いてもらひたい
英商務官意見開陳

〔ロンドン卅日發國通〕門野顧問は本日松山商務官を帶同し英國商務省參事官ウイルソン氏を訪問し、長時間に亘つて日英印通商協議問題につき『意見』の交換を行つたが其際ウイルソン氏は英國としては日印協商會は英國でしてもらひたいとの意向を表明し、英國は其奥の手を出してシムラ會議を横から奪取せんとする意向を明かにしたい、更にウイルソン氏は日本品の自由競爭は當然のことだが、たゞ日本品が海外市場に於ける重大な攪亂要素となつてゐる事實は英國として困る點だから考慮を拂つてもらひたい且市場協定を締結する爲は市場の定義を廣義に解釋して貰ふ事を希望する旨を述べた、此市場を廣義に解釋せよと云ふ意味は確聞するところに依れば、單に英帝國のみならず第三國をも含むと云ふ『意味』で其影響するところ重大なものがある、本問題に關し英國は俄然本性を表面に現はして來た

前後九回の修正を經たる 金本位諸國宣言草案

〔ロンドン三十日發國通〕金本位諸國の宣言草案は最終的に成立する迄に前後九回に亘り修正を經たと言はれて居るが、その主要骨子は

一、金本位を離脫して居る總ての國家は成可く速かに金本位制に復歸すべきだ
一、但し爲替安定比率並びに安定の時期は各國獨自の決定に俟つ
一、自國通貨の低落して居る諸國は金本位諸國の確乎たる立場を是認す

因みに確聞するところに依れば英米代表部は右草案を承認したが、ルーズ大統領は更にこれを修正すべく固執して居る模樣である

輸出入貨物全般に亘り 關稅率の改正斷行
滿洲國政府の新方針

滿洲國が國內稅關を接收してより滿一ケ年この間關稅制度は漸次整備され着々實績を擧げてゐるが、滿蒙の新情勢に適應した新しい關稅政策を樹立すべく財政部に於て考究中の所、愈々輸出入貨物全般に亘り關稅率の改正を斷行する事に決定、本月中旬一部約四十種の關稅改正を見ることゝなつた、稅率の改正される種目は

△輸入品に於て滿洲開發に必要な農業用、採鑛用、製鋼用機械を一律に引下げる、右の外三千萬民衆の生活日用品たるメリヤス類、石鹼、靴下等輕工業生產品も或程度まで引下げを見る模樣である

△輸出に於ては現在奉天を中心として銑息增產の途にある棉花の輸出を盛んならしめる爲め、これが輸出稅も引下げられることゝなる趣である、これ等稅率の引下げにより滿洲國關稅收入は百五十萬乃至二百五十萬元の減收となる見込であるがこの額は奢侈品の輸入稅率引上げにより十分補塡し得るとの見込である尚ほ右稅率改正と共に從來貿易業者より兎に角不平の聲が揚げられてゐた稅關員の敎育訓練についても相當考慮が拂はれる趣である

中銀週報

六月十六日より二十二日までの中央銀行紙幣鑄貨平均高左の如し

發行額 一三六、六三〇、六六四、九八
準備 七四、〇〇七、三五五、四九
保證 四〇、九六八、四五九、〇〇
鑄幣發行額 一〇、八七〇、三七

支那の不當關稅に 天津商議外相に陳情

〔天津一日發國通〕目下實施徵稅中の中國政府の不當關稅引上問題に關して天津日本商業會議所では豫ねて委員會を組織し邦商の蒙る打擊を計數的に調査し役員會の協議を經て愈々成案を得たので昨日印刷を終へ請願書を添へ直ちに內田外務大臣宛に郵送した右問題は有吉公使が政府の訓令に基き中國政府當局に抗議中のものであるが、在支各商議より夫々政府に對し我天津商議同樣請願書を提出、中國政府の反省を促す事となつて居り之に依つて中國政府が如何なる態度に出ずるか、結果は注目されてゐる、尚右實際影響調査書並に請願書の寫は當地總領事館其他關係方面に提出する筈

戰區義勇軍處置問題 圓滿解決せん
支那側交涉委員大連に向ふ

〔天津一日發國通〕李際春等義勇軍の處置問題については昨日支那側委員雷壽榮外二名大連に急行した、義勇軍處置問題については兩者直接交涉に當る筈で日本側は勿論關係せず好意的斡旋の勞をとることゝなつてゐるが、既に兩者の意見は豫備交涉で相當步み寄りを示してゐることとて、多少の遷延は免れないとしても圓滿解決には到達すべしと觀られてゐる

興安省行政區劃 三日の閣議で變更

三日の第二十九次國務院會議に上程される敎令案は次の二案である

一、政府契約規則
右は政府の實施する該契約の根本原則をなす重要敎令案である

二、興安省行政區劃に關する件
興安省內の行政區劃は北分省を除く外は大同二年敎令第三十八號を以て決定したものであるが北分省は他分省と旗の事情稍異つてゐる爲追て決定する旨々規定してゐたが、その後調査の結果に基き各旗長の意見をも徵し、今回行政區劃決定することになつたのである

松島書記官の後任として 吉澤書記官來任か

シムラ會議に我代表主席隨員として渡印した駐滿大使館松島一等書記官の後任として本省より近く吉澤一等書記官が赴任することゝなる模樣である、尚大使館花輪二等書記官は三十日附で一等書記官に榮進した

任を離るゝに當りて
東省特別區行政長官 張景惠

大同二年六月十九日の國務院會議に於て東省特別區を北滿特別區と改稱する件、同官制制定の件、並びにハルピン特別市制に關する件が上提審議され、七月一日より新制度の實施となり茲に北滿經營の上に一大革新が齎されんとす、余は東省特別區長官として其職に在ること六年、如斯思出多き地を去るに臨み聊か所感を開陳するは余の義務なりと信ずるものなり

旣に大同維新の偉業成り舊來の弊政陋習は其跡を絕ち王道樂土の實現に着々として其歩を進めつゝあるはアジア精神文化復興の先驅をなすものにして、こは余の最も待望せし所なると共に全滿三千萬民衆の欣喜措く能はざる所なり友邦日本帝國に於ては多大の援助と犧牲を拂ひ以て我滿洲國建設を實成促進し、客年九月十五日列國に卒先して我國を承認し越えて本年三月廿七日自ら國際聯盟を脫退して『日滿兩國間の善隣の關係を永遠に鞏固にし互に其領土を尊重し東洋の平和を確保せん』ことを々證せり

蓋し舊軍閥政權の腐敗踏襲の因りて起りし所以のものは其の人事行政に一大錯誤あるを知りながら然も尚ほ匡正し得ざりしにあり「民は邦の本にして民に聽き民に視れば天隨はざら」の古訓を悟らざりしに因る、彼等地方官憲は其所管地域を以て自己掌中の地盤と稱し之を私有物視し苛斂誅求飽く所を知らず、民衆をして塗炭の痛苦に陥らしめ民福の念毫も無きが故に一旦自己の地盤を獲得すれば之に利己的弊政を施し其地を覇持して離さず有るに似て無きが如き中央政府亦之を如何ともし能はず惡政百出し、民心不安懊惱の極に達し國家の公僕は却つて苛斂の鬼神と化せり、余之を憂ふること久しく之を革止せんと希求する念瞬時も去らず偶々一昨年九月十八日柳條溝爆破事件に端を發し日支兩軍の衝突となり全滿民衆の東北舊政權に對する積年の憤怒一時に燃え、反學良の聲は隨所に擧り獨立自治の叫となり我が東省特別區に於ても官民屢々會商の結果同年九月廿七日を以て東省特別區治安維持會の組織となり余推されて之が會長の職に就き中央政權より離脫して內外諸般の政務は本會に於て處理し、越えて其翌年一月一日黑龍江省全民衆の懇望默し難く老軀を驅りて同省々長を兼任し躬ら其地に在りて省政を創め民衆に其の進むべき道を示し當に幾日ならずして民心大いに安定に歸せしむるを得たり茲に於て再び前者の任地に歸り、一區一省の非常時に於ける政務の處理と民衆の歸趨を洞察して之に適る有効なる處置を講じ稍もすれば流言蜚語熾んに行はれ其れが爲に民衆の附和雷同して自ら其災禍を招くに至るを憂慮し特に管內警備に全力を傾注し幸ひ事無きを得たりしは官民諸君の克く余の命に服し克く余の指示に從ひ緩急事に處して以て鎭撫かりしに因るものと深く信じ衷心感激の念に堪えざる所なり、ハルピン市は我が滿洲に於る地理的樞地にして交通四通八達し、就中松花江の水利は北滿無限の富源を開發するに隨ひ其集散の便を與へ必ずや近き將來東亞屈指の大經濟都市となるは言を俟たず、其理想を實現すべく適當なる計畫を進めつゝありしが、今回其の警劃成り茲に特別市制の公布を見るに至れるは實に當然の歸結なり况んや中央の事務多端にして兼任すること難く之を契機に茲に謹んで骸骨を乞ひ一は以て政策の遂行を圓滑にし他は以て後進者の道を開かんとす

最後に一言したきは我滿洲國も熱河掃匪の完成に因りて漸次治安も恢復し王道樂土實現せらるも猶一部蒙昧の徒なきにしも非ず聰明なる官民諸君能く臆測に擱躍し流言蜚語に惑はさるゝことなく大滿洲國建國の主旨を體し日滿兩國協力一致して東洋の和平世界人類の福祉のために今後益々努力邁進せられんことを望む

軍費着服の舊惡暴露
監察院が學良を彈劾

〔北平三十日發國通〕監察委員邵鴻基は前日南京から入平し張學良彈劾案の實地調査を爲しつゝあつたが『既に』調査を終り今明日中に歸京するが此重大事件の內容を聞くに河北省民衆代表より張學良を彈劾したもので學良が北平綏靖主任時代東北軍總兵數二十萬の軍費として每月北平財政特派委員公署より二百萬元、長蘆塩運使所より百萬元、河北省各縣より八十萬元、北寧、平綏、平漢の三鐵道より七十萬元、合計四百九十萬元の大金を取りながら時々中央に軍費不足を稱して百萬二百萬を要求して居つたが二十萬の兵隊に一人當り一ケ月十元平均として只の二百萬しかかからない、殘り二百萬乃至三百萬は學良が『着服』して居つた眞相が判明したので監察院で彈劾することに決定したと云ふ

支那側 河北省軍備充實を計る

〔天津卅日發國通〕支那側情報に依れば、河北海陸空防備充實を圖る爲北平軍事分會では河北省政府主席于學忠と協議の結果先づ海防に主力を注ぐべく東北艦隊を澎湃艦隊と改稱し、中央より新艦十隻の北航を求め塘沽に三隻、灤河に一隻、泊鄗口に一隻を置く模樣である

北平の戒嚴令解除

〔北平卅日發國通〕事變以來今日まで四ケ月以上に亘つて每日行つてゐる北平の戒嚴は時局も平常に歸したので本七月一日から廢止する事になり本日全市の各機關に戒嚴を解く旨王樹常の名を以つて通告を發した

閣僚引揚げ問題で 政友の內紛再燃
强硬派會合して協議を凝らす

〔東京一日發國通〕鈴木總裁の裁斷後政友會內の自重、强硬兩派は表面平靜だつたが最近又閣僚引揚げ問題で兩派の抗爭再燃せんとする形勢となつた、即ち强硬派は政友會が眞に是々非々主義を採る爲に閣僚や政務官は當然引揚げねばならぬと引續き閣僚や政務官を說得して居り、一日午後六時濱町中村屋に會合して具体策を協議するが豫算編成期に入るに隨ひ成行重視されてゐる

聖書研究會出席者に 運賃割引

七月三日より八月一日まで奉天に於て開催される聖書研究會出席者に對して滿鐵では次の規定により往復割引乘車券を發賣することゝなつた

一、割引區間、社線各驛より奉天驛往復
二、割引期間、七月三日より八月一日まで
三、通用期間、乘車券發賣の日より八月一日まで
四、割引率二、三等五割引
五、取扱方、同割引乘車券は奉天神學院發行の割引證引換に發賣する

天氣と氣溫

けふの天氣北寄りの風晴一時曇り、一日の氣溫最高二十九度三、最低十五度八

四平街から 青訓デー

〔四平街支局發〕當地青年訓練所では一日の開校記念日を最も意義あらしむ可く當日は左記の如く青訓デー行事をとり行ふと

一、野外敎練守備隊鄉軍側も參加して市街戰と市中行進即ち午前五時五十分頃から南社宅附近から機關區附近に亘つて壯烈なる模擬戰を展開但し雨天の際は取止め
一、映畫會入場無料として小學校講堂にて開催開始時刻は午後七時三十分より

安東だより 愛婦支部發會式

〔安東發〕愛國婦人會安東支部の發會式は廿九日午後一時五十分より安東高女講堂で擧げられた、此の日午後零時二十分着列車にて來安した愛婦人會長本野久子夫人、同會事務總長小原新三氏、顧問堀內中將、同會理事、船井夫人等はホテルに少憩後一時半會場に到着、五十分より嚴肅裡に意義深い發會式を行つた、正面に日の丸の國旗を飾つただけの極めて清楚な會場には日滿安義來賓、一般會員、高女生徒等約八百名威儀を正して參席し頗る盛大な光景を呈した、尚ほ式後午後二時二十分引續いて講演會を開催した

吉凶禍福

△新京長通路警察署構內鶴木喜兵衞氏孫祥子さん、二十日午前一時二十分死去
△新京中央通四大和ホテル內桑原金次郎氏孫正儀さん、三十日午後四時死去

博覧會を機に 日滿實業懇談會開催
關係者三百余名出席

滿洲國建國の大業を記念し併せて日滿の經濟的提携、產業の開發、滿蒙の實相紹介の目的で大連市に大滿洲博覽會が開催さるゝ事になつたことは既報の如くであるが、此の大博覽會を機として日本商工會議所代表、日滿主要都市代表者、滿洲國商會代表者、滿洲國政府關係當局、關東軍、大使館總領事、領事、關東廳、拓務省、滿鐵、在滿在支商工會議所關係者三百二十七名集合し八月十五日より五日間大博覽會主催地大連に於て日滿實業懇談會が開かるゝことになつた、盛況を豫想さるゝ日滿實業懇談會の協議事項は六部に分れ、協議が進めらるゝ筈である

第一部 交通に關する事項
一、鐵道建設 二、鐵道建設資金 三、鐵道運賃 四、鐵道輸送系路 五、築港 六、港灣施設諸料金 七、水運 八、道路 九、自働車 一〇、郵便及電信電話 一一、航空 一二、其他右に關連する事項

第二部 財政金融に關する事項
一、財政 二、租稅其の他公課 三、關東州滿鐵附屬地と滿洲國との負擔均衡 四、幣制 五、金融及金融機關 六、開發資金 七、資金誘導策 八、財界整理 九、其他右關連事項

第三部 貿易商業に關する事項
一、關稅 二、密輸入 三、販路開拓 四、商品及市場 五、取引機關 六、通貨金利爲替 七、其他右に關連事項

第四部 工業に關する事項
一、基礎工業 二、工業試驗 三、關稅及關稅制度 四、石炭及勞力費 五、運費 六、金融及金利 七、工業統制 八、工業用水 九、土地 一〇、地代及諸負擔 一一、勞動問題 一二、商標及度量衡 一三、其他右關連事項

第五部 資源に關する事項
一、農業 二、鑛業 三、林業 四、畜產 五、水產 六、資源開發方法順序 七、其他右關連事項

第六部 政策に關する事項
一、農業移民 二、商工移民 三、商租 四、治外法權 五、日滿產業の連絡調節 六、其他右關連事項
備考 治安維持に關しては當初一般的懇談の際特に說明を煩すことゝなすべし

東京滿蒙輸出組合 滿洲直輸を計畫

〔東京一日發國通〕東京の滿蒙輸出は大阪神戶を經由してゐたが、滿蒙輸出組合では東京、滿洲間直接輸送を計畫し鶴見の日滿倉庫埠頭より大連への定期航路を汽船會社に依賴することゝなつた

教育方面にも 素晴しい滿人の自覺
新京公學校の父兄が集つて 活動映寫機など寄附

事變後特に滿洲人の教育方面の自覺が素晴らしく、今まで殆ど顧みられなかつた兒童の教育についても父兄間では特に關心をもつて見るに至つたことは誠に喜ばしい傾向とされてゐるが、これが一つの現れとして新京公學校父兄會が寄り合つて同校兒童のため活動寫眞映寫機、ラヂオの擴聲機（この價格約六百圓）を買ひ求め此のほど學校に寄附した同校では直ちに三十日午後一時から校内で試寫會を開いたが、先生も生徒も大喜びで今後は學校と家庭との連絡上にも屢々この活動寫眞機を利用して役立たせたいと意氣込んでゐる、映畫は文教部、その他からなるべく教育的のものを選んで上映したいといつてゐる

年増女の雲隠れ
宿賃を踏み倒して

住所不定橋本ムメ（三七）は本月十三日吉林から敦化にいたり北門外丸一旅館こと金仁鉉方に二十五日迄投宿 旅館から投宿代金を請求されたが自分は所持金がないと一擧にけさばした末、自分が新京富士町近江屋印刷所で働いてゐる高幡義に現金十五圓を貸してゐる故今委任狀を書くから同人に請求して呉れと云つたがでは同伴するからと二人は二十八日來京し一先づ曙町高麗旅館に投宿したところムメは金の目を盗み行方を晦ましたので金は直ちに近江屋を訪れたが高幡義とは僞で全く一杯かけられたことに氣が付き三十日新京署に捜査方を願出た

郵便物の配達 これから早くなる
配達區域を縮少

新京郵便局では既報の如く郵便物の激增の爲現在の十二區では配達夫の負擔があまりに過重なる爲これを十六區とし配達夫四名の增員を行ふ計畫で豫々遞信局へ申請中の處去る二十九日本局より調査員來京種々調査の結果增員の必要を認め上申する事となつたので近く實現するものと見られこれが實現の曉には市民は一般に從來よりも早く郵便物を手にする事が出來るはずである

京大後任總長
神戸、松井兩博士有力

（京都一日發國通）三十日午後四時半、京大小西總長の依願免官及び山本總長事務取扱ひ任命の公電に接した京大では、直ちに後任總長の選擧準備を開始したが、愈々一日朝全學部教授に宛て後任總長選擧の通告を發し、六日第一次投票をメ切り翌七日各學部長立會ひの下に開票、十名の總長候補者を選出、矢繼ぎ早に第二次の投票を行ひ同日夜か遲くも八日正午迄には後任總長の決定を見ることゝなつた後任總長は經濟學部の神戸正雄、工學部の松井元興兩博士が有力視されてゐる尚以上學部諸教授の投票は各教授個人の自由に一任されてゐるが、大體棄權するものと觀られてゐる

新京衞生當局の 新防疫陣なる
自動車を購入して快々的に

衞生當局が必死となつて豫防に努めるに拘らず新京市内の各種傳染病殊に赤痢の流行は猖獗を極め全く寒心に耐へぬものがあるので當局は實に一段の馬力をかけ防疫施設を擴大し七月一日から左の通り實施した

一、塵芥糞便の始末、從來各十五台の馬車を用ひ運搬して居たものを塵芥三台糞便二台の割で自動車を購入これに伴ふ人夫も增員し汚物堆積の苦情を聞かぬやうに努める、尚市場飲食店などの塵芥捨場や魚臓の如き惡臭を放ち蠅の發生の恐れがある個所は別に二台の馬車を間斷なく巡回させ始末をする外市内の横町空地などに點んずる人犬糞なども二班の掃除人を派す

一、野菜消毒は上水不足の折柄見合せて居たが、これも斷行し、行商人には消毒濟證を交附するからそれの有無を確めて購入され度く尚萬全の策としては更に各家庭で消毒して貰へば結構で消毒劑は市内各派出所で無償頒與する

一、第四水源地の上水池の消毒を行ふ

一、共同浴場の脫衣場は一日一回必ず消毒を行ふ

一、傳染病棟は附添人或は見舞人を嚴重に看視し嚴重に外部との交通を斷つ

一、赤痢患者二名以上を出した家では外部との交通を遠慮して貰ふ

一、赤痢患者を出した家の糞便塵芥は五日間間斷なく運搬する

一、赤痢保菌者と便所、飲用水を共にし或は交通したものゝ檢便を行ふ

一、市中で販賣する飲食物等は時々警察の手で檢査を行ふ

以上の通りでこれに呼應して市民側も自衞のためその勵行に協力されたいと望んで居る

俄作りの海賊船 星ケ浦沖で坐礁
獨人海賊犯人五名が上陸

（大連一日發國通）三十日午後十一時半頃大連市外星ケ浦沖合に一隻の汽船が坐礁し間もなく一日午前三時頃五名の外國人が舢舨によつて上陸したとの

＝報告＝が所轄沙河口署に達したので署員を非常召集し直ちに星ケ浦に急行した處、四名は既に姿を晦まし、米人ミユーランと自稱する獨逸人タウチン（五九）一名を逮捕したが拳銃を所持してゐたので嚴重取調べた結果、汽船横領の恐ろしい海上の慘劇が明白にされた、上陸した五名はドイツ人タウチンを首領とするドイツ人ベスターン（二五）シユダー（二五）ミユーラー（二五）スイス人ガーチ（三二）の五名で同人等は去る廿六日午後三時福州に向け石炭千八百噸を積載太沽を出帆せんとする天津佛租界直東公司盛坤山の所有船盛安號（一八〇〇噸）に便乘廿八日午後十時半頃船が上海を去る東北方約二百海里附近を航行中五名は

＝突如＝無電室を襲ひ、無電技師李鳳民（二八）を拳銃を以て一發の下に射殺し次いで船長白系露人ウイユモン（四〇）副船長ホサイナハイツ（五二）同夫人（二八）を次々に射殺し更に抵抗せんとする冠（二八）外支那人十名を射殺し、死体を悉く海中に投棄し二十九日午後六時頃に到り汽船運轉經驗を有する船員揚某を強迫し營口に行けと命じ、營口に向け航行中更に大連に行けと命ぜられ進路をあやまり星ケ浦沖台に坐礁したもので、事件の發覺を怖れ逃走したものである

柳行李等盗まる

城内七條道巨合棧止宿林田稔氏は本年一月二十五日から東二條通十六番地蔡表具店に柳行李在中衣類十點時價一百三十圓の保管を依頼し同家倉庫に保管してゐたが三十日受取に行つて見ると何者かに窃取されてゐるを發見し直ちに新京署に屆出た

けふの庭球試合
午後二時から

滿洲國体育協會新京支部並に新京体育協會主催の早大庭球部對オール新京（日滿聯合軍）の硬球試合はいよいよ今二日午後二時から新京高女横の舊グラウンド滿鐵コートにおいて開催されるが入場無料である

新京公學校同窓會

新京公學校では南滿中學堂を始め各地上級學校に入學中の卒業生が近く夏休みで歸省するので來月十六日同校内で同窓會を開くことになつたが同校現在の卒業生は四百六十三名で、うち上級學校在學者百四十五名殘る大多數は官廳滿鐵、實業界その他に雄飛してゐる

特殊傳染病棟 新に日滿共同で建築
山内係長近く打合せに赴連

日滿人傳染病患者收容のため滿鐵が經費卅五萬圓を以て興安大道西南端に新設する普通傳染病棟は此のほど長谷川組の手に落札、近く着手すべく來る十月末に完成の豫定だが

＝更に＝この際首都新京の防疫上萬遺憾なきため普通傳染病棟の隣接地に特殊傳染病棟を新築すべく日滿合辨で經費約二十萬圓を以て當らうといふので、新京地方事務所および市政公署が目下折衝中である右用件その他を帶び地方事務所山内地方係長は三日これが本社と打合せに赴連することゝなつた、なほ決定されれば本年は基礎工事に止め來年度解氷を待つて直ちに本工事に

＝着手＝する見込みで、同病棟はコレラ、ペストの如き特殊傳染病患者のみを收容するもので、特殊普通兩病棟には何れも面積三萬二十方米の廣大な用地が準備されてゐる

チチハル日本語熱旺盛

（チチハル卅日發國通）滿洲國建設以來各地に於て日本語熱が盛んになり滿人にして日本語を知らぬ者は恥の樣な有樣になつた、その爲當地協和會では來月一日から日語夜學校を開設すべく準備中の處第一師範學校附屬小學校内に於て開講するに決定、廿九日より一般の希望者募集に取り掛つたが、陸續として志願者が押掛け夕刻迄には遂に定員五十名を突破し百名以上になつたので協和會では目を廻す有樣だつた、この滿人の熱意に動かされ定員五十名を百名となし、二部制にして毎日午後七時から一時間づゝ講習する事になつた尚は當地領事館と本朝鮮人民會、教育廳等も合流近く大々的に日語講習學校を建設すべく協議中である

櫓太鼓の音も高らか 相撲一行乘込む
正午から肉彈相搏つ國技展開

いよいよ今朝は大日本相撲協會の東西力士團横綱玉錦を始め三百名からの巨人連が乘込んで來る、勸進元聖德會員は數日前からその準備に

＝忙殺＝されてゐたが一日夕刻までにはすつかり出來上り、中央通りの一角に青葉の並樹の中からぬきんでゝ高く聳ゆる相撲の大鼓櫓、一行の到着前未明から市民の夢を破つてドウドウと櫓太鼓の景氣のいゝ音が響き渡るこれを聞いた好角家は睡つては居られず我先にと神社の境内へ押し寄せることであらう、國都ホテル、大和旅館、富士屋旅館、愛國旅館、西村旅館、梅屋旅館、白石旅館、大丸旅館、北滿旅館、協和旅館、常盤旅館、京都旅館、日本橋旅館、萬屋旅館、喜久屋旅館、大丸本館、大寶旅館、等々一行の宿と割當てられた旅館では前日に渡された小旗を馬車人力車にたてゝ迎へるなど晴がましい乘込みを見ることが出來る六尺六寸六分四十五貫の

＝巨軀＝のもちぬし出羽ケ嶽を始め隆々たる肉體に今更ながら驚異の眼を瞠らせるであらう斯くて正午から開場、午後三時頃から血湧き肉躍る角力が展開する

故千葉上等兵
けふ告別式

新京守備隊故上等兵千葉幸男氏の告別式は今二日午後一時から商業學校講堂において嚴かに執行されるはず

滿洲國六法全書
現行法の整理なり 帝國司法行政學會より出版

治外法權撤廢を目標として滿洲國當局は司法制度の改善整理に全力を擧げてゐるが、その行法は漸く此程整理統一が成つたので、東京の帝國司法行政學會より滿洲國六法全書（滿日對譯）が發行されることゝなつた、滿洲國の現行法には二種あり、一は建國前滿洲に於て施行されてゐた法規で教令第三號により採用されるもの、他は滿洲國獨立後、公布された法規である、後者に就いては問題はないが、前者に就いては如何なる法令の條項が援用されておるかに就いて問題を生ずる譯であるが本書には現在司法機關に於て用ひつゝあるものを採錄し、事實上現行滿洲國法規の集大成である、なほ同會は新京彌生町二丁目一番地帝國地方行政學會新京出張所（電話三八三二番）で販賣してゐる

朝鮮人に對する 滿人の態度が轉向
＝吉林省調査月報の發表＝

吉林省に於ては最近經驗せる鮮農集團農場設置問題等に刺戟せられ將來多數鮮農の移住を豫想し之が對策に付漸次考究せられつゝあり同省外署調査月報に民政廳長李銘書「千箴」は左記の如き鮮農移住に對する意見を發表したが之は滿洲側の鮮農移住に對する代表的意見と見られる

我國は廣漠無限の大陸にして東南海に際し氣候適宜に江河環帶し地質肥沃にして東亞の穀倉として其の名著はるること久し然るに開放比較的遲く地限りなく

＝未墾＝し苟くも鮮人にして茲に遷移して水稻を作れば優に地力の經濟を助長し人民の富力を促進して國家に有利なること其一なり、草原河邊の地は土農前より之を棄地と視るも鮮農之を得るや即ち大利の存する所とし磨壞を化して膄土となす之國家に有利なる其の二なり、滿人は畑のみを耕すが鮮農利既に跡し、今水稻耕作の鮮人をして各地に散居せしめ吾滿農此の指導を得て漸次倣ひて種植せば將に一大豐産を增すを見るならむ、之國家に有利なるもの三なり、此の三種の利益は何人も首肯し得る處で此の觀念に立脚して見んか鮮農の移墾に對して宜しく歡迎に暇なき筈なり、然るに一般民意は悉く之を然りと云ひ離し其の

＝原因＝を究むるに蓋し二あり一は滿鮮農民は智識均しく低き爲滿人は侵さるるを懼れ鮮人は侮を受くるを虞るに依り彼我の感情爲に融和せず、又一は鮮人の水稻を植ゆるや稍もすれば河を堰止め壕を掘りて洪水の時兩岸の畑に被害あり又水路を開く其の長きもの十餘支里に及び滿人の畑は兩斷せられ水路を跨りて耕作すべき不利あり、客已に主人を恤するなし、主人たるもの豈客の安處を願ふべき過去に於ける爭は大半此に屬す、故に將來に於ては滿鮮兩方相理解して懷疑の念を去り鮮人が開墾を始むる時は土着者の同情を求むべく同時に居民も亦鮮人入境すれば初より排外の陋想を捨て官紳又善く勸導せば久しくして親睦に至らん故に鮮人水田を選擇するには須く隣出の利害を注意し壞溝の害をして努めて輕減し滿鮮兩方相安するに至り茲に於て鮮人移墾の前途も自ら容易となり我國家も亦依つて以て

＝無窮＝の資源を開き得べく斯くして永久の協作をなさんか即ち滿鮮兩方の利益にして國民の共慶する處なり

湯玉麟の骨董を 舊部下が強奪

（北平一日發國通）湯玉麟が熱河から持逃げした骨董品は北平西便門外の什方院の附近に在る彼の別莊に保管され、二番目の息子が三十餘名の番人を指揮しておつた處、昨日午後一時頃三人の壯漢が自動車で乘りつけ番人一同に給料をやるから集れと一室に集合するや矢庭に拳銃をつきつけて監禁してあつた康熙の青磁器外數十點價格十數萬元のものを強奪逃走した犯人は勝手を知つた湯の舊部下であると題する滿洲在家裡の重要性を解剖したパンフレツトを出版すべく準備中である

全英庭球選手權單試合で 佐藤勝つ

（ウヰンブルドン三十日發聯通）全英庭球選手權單試合第四回戰において佐藤選手はイタリーデ杯選手ステフアニーを破つた、結果左の通り

佐藤……六―二 六―四 三―六 六―二……ステフアニー

獨學廿四才の青年が
高等學校英語教員檢定に合格

（東京一日發國通）高等學校英語教員檢定試驗合格者が發表されたが中に柴田徹士と云ふ獨學の青年がある、同君は二十四才、大阪で豆腐屋を始め曩に中等教員檢定試驗に合格今回見事に教授試驗にパスしたものである

電話開通

新京ジヤパンツーリストビユーロー 三三九三番
公衆 四七七二番
鐵道 （三七〇）

滿洲秘密結社の研究書 近く出版

（大連卅日發國通）在滿在家裡は遂に表面に躍り出た、全滿三百萬會員の政治的勢力、民族的運動は今や侮り難きものとなりこれが正しき指導は滿洲國の基礎確立に偉大な力あることを看破した當局は、これが誘導方法につき具体案を決定したが、此の種滿洲支那の秘密結社に通曉せる大連署高等主任末光高義氏は「滿洲秘密結社の政治的動向」と

趣味と家庭

民間外交の確立は日本婦人の力に俟つ

法學博士 農學博士 新渡戸稻造

日本の現在は單なる日本ではない、この小さい島國日本は今世界の注視の的となつて日本の一寸した動きも直に世界中に響き渡る程廣く大きくなつて來た

國際聯盟を脫退したから日本は孤立したなどと考へる人もあるやうであるが、決して聯盟を脫しても日本は孤立した譯ではない、これに依つて世界と手を切つたのでもない聯盟脫退によつて日本はもつと大きい意味での聯盟加入國であることを知らなければならないことを申し上げたい

□

脫退した聯盟は國家對組合つまり人爲的組合であつて、國と國がいろ〳〵の契約をこしらへて一つの世界道德を守らうとしてゐた聯盟であつたしかし聯盟にはもう一つの意義がある、それは國際家族といふ聯盟であつて、その國の道德標準が高められてゐれば各國平等の交際が出來るのである、もつと詳しく云へば古い時代から四海皆兄弟といふ觀念があるのは實にこのところを指したものであつて、世界各國を打つて一丸とし人民はすべて家族であるといふ意味である、さきに脫退した聯盟は型の上だけであつて、眞に生きなければならぬのは國際家族の聯盟である、型の上の聯盟には十二年前に加入したのであるが、國際家族にはすでに三十二年前に加入し世界の人達と平等に交際が出來てゐたのである

今日のやうに各國共にいろ〳〵の問題にわずらわされてゐる時はない、この時期に日本國民は、型の上の聯盟でなく國際家族的聯盟の道德を守るべきであることを主張する

□

私が世界を歩いてさくに考へさせられたことは、日本の事情を世界の人達が知らないことである支那人のことはよく知つてゐるが日本人のことになるとあまり知らないやうである、日本人は一たいに社交が下手である、今度の國際聯盟に於ても日本の交渉は徹頭徹尾信念と腹での行き方であつて、松岡代表の苦闘もどんなであつたかと思ふ、しかし支那代表者達は口さきでの外交であり、型だけのものであつた、それにも係はらず各國婦人達の目には、日本よりも支那に好意が持てたと云つてゐた、即ち社交上手に支那代表者達がさくに婦人の間に喰ひ入つた證據である

もと〳〵民族性の相違にもよるがもつと今後の日本人は外交とか社交とかいふものを考へなくてはならぬ、これから起る世界の動きは一つに外交の上にかかつてくるだけに余程考へなくてはならぬ、今度の日支紛爭事件に對してさへも、非常に日本は惡者扱ひを受けてゐた、そして日本人は戰爭好きな殺戮者らのやうに考へてゐる人が多いやうであつた

□

今後の日本と米國とは、どうしても結ばれなくてはならぬ國柄である、それだけにアメリカに行つた時、非常に暗い感じを受けた、勿論支那人の宣傳が行き屆いた故もあるが、あまりに日本の事情の紹介されてゐないことにも淋しい思ひがした、ことにアメリカ婦人達が強い反感を持つてゐることに驚かされた

日米を結びつける鍵は表面上に表れるところの外交ではない、陰にある日米婦人達の強い握手である、現在のアメリカ人達の持つてゐる暗い感情を一掃しなくてはならぬ、それにはどうしても日本婦人達の力を借りなくてはならぬと思ふ、日米國交の主要な鍵を日本婦人が持つてゐることをこの際自覺していただきたい、と云つてこの鍵は決してむづかしい仕事ではない、一寸した行動の上にその重要なことが果される譯であるから是非とも今後は常日頃のうちにその責任を果して貰ひたいと思ふ

□

國際親善の最も大きな力は外交官の外交ばかりでなく個々人の交際友誼のうちにある

自分がアメリカ滯在中にもいろ〳〵と至る處で非常な便宜を與へて貰つたが、これ等は日本にあつて私はよく外人を招いて食事を共にしたり、個人としての友誼ある人々を持つてゐたおかげであつた、ことに外人はこの個々人の友誼や親切をよろこぶ性質がある そしてこの個人の交際とか一寸した親切を受けたことなどを、延いては日本ノ全體の印象のやうに取り扱ひ、反日感情の強い時にもよく日本の立場を擁護し、事情を紹介してゐる人を見受けた

このことをよく吟味してみれば只單に日本滯在中に、日本人に迷つてゐる道を丁寧に敎へられたとか、日本商人の感じの良かつた事とか云ふやうな些細な事柄である、ただそれだけのことでもあした事件の最中には大きな力となつて表れてくるのであるから、外人の知人ある場合は良き交際をするとか、歸國した後などでも手紙の交換をするとか日本の事情を紹介するとか、意見の交換をするとか云ふやうなことをしていただきたい

こうした簡單な友誼がやがては大きな國際親善のはし渡しとなるのである、契約と契約でなつた國際聯盟は脫退しても、國際家族の日本は今後ますます國際親善に努力せねばならぬが、その重要な鍵は實に婦人の情緒的な友誼のうちにあるのであるから婦人の力に俟つところが非常に大きい

圍碁新手合 (三局の十四)

三段 石塚行誠
三子 鶴岡隆

手薄になる丈で 一向に冴えぬ結果 (五十)

黑頭巾評

黑『□二十八』の押しは、こう行くべき處である。それを『□二十九』の方から出て行くなぞは不味い。即ち黑『□二十九』白『□二十八』黑(い)白(ろ)となり黑の方却つて手薄になる丈で、一向に冴えない結果を招く事になる。

白『□二十九』の粘ぎも餘儀ない處。

黑『□三十』は堅實に構へた手で、これも結構。

白『□三十一』はそれを放つて置くと黑に(は)と斜走されて、そこに約十目程の地が出來るのであるから、それを一寸妨害して置いたのである。

黑『□三十二』はそこを白に衝かれては到底叶はぬ。こう挨拶するの一手。

白『□三十一』の使命はそれで完全に達したものと看做して良い。

大分稼いだ

白は轉じて『□三十三』と尖み黑『□三十四』と交換して置いた。

これは、後で、黑(は)と突込み白(に)黑(ほ)白(へ)黑(と)となるにしても、それは黑後手である。

だが、黑が先きに『□三十三』へ尖むとすれば白(ほ)黑(ち)白(り)黑(と)の時に大概は白(へ)と粘いでゐなければなるまい。

さうすれば、黑は先手で大分稼いだ事になる。尤も、白は場合によつては(へ)と粘かずに、手を拔くかも知れぬ。

と言つて見た所で、白はあまり遠方へは行かれぬ理由がある で假りに、白(ぬ)とでも抨つて間に合はしたものとすると黑(へ)と切り、白(る)の時に、黑(を)と當て、白(わ)黑(か)白(よ)黑(た)と盤ッて黑が可成り利得をする。

若しも、白(ぬ)の防備がないとすれば、白は全々行かぬのである。

即ち、黑(へ)白(る)黑(わ)白(を)黑(か)白(れ)黑(そ)白(た)の時に黑(つ)と覗き白(ね)と粘がねばならぬから黑は從容として(な)と並ぶのである。

こう言ふ風に考へて見ると、白は大抵の場合(へ)と粘ぐものと見て差支へないだらうと思はれる。

救援の手順

白『□三十五』の綽ねも先手である。

黑『□三十六』白『□三十七』黑『□三十八』の粘ぎ迄は必然過ぎる程の處。

それから、白は『□三十九』と突つ張つて、白『十三』『十七』の二子を救援する手順になつた。

こゝは以前から、黑(ら)と尖んで白の二子を取る手が殘つてゐたものである。

白は後手でも、隨分大きい處だから我慢した譯だ。

元來こゝは、先きに白『□五一』の手で(む)と衝き當り、黑『□六』の時に、白(う)と截り出て置けば、後で態々『□三十九』なぞと、餘計な心配をしなくとも濟んでゐた筈だが、なぞと、今更愚痴をこぼしても、詮ない事である。

だが、こう言ふ失策を、苦惱を舐めてこそ、圍碁の進境も、人生の悟りもあらうと言ふもの 穴勝ち、後で氣が付く下司の智慧なぞと卑下するにも當らない

入札

七月一日

△ブラインド、四箇 一〇圓四〇 横山洋行
△名札掛(二百人分)一組 二九圓三〇 品川洋行
△板掛臺(移動式)五臺 三〇圓〇〇 東洋社
△掛時計、一〇箇 一〇〇圓〇〇 森洋行
△レタークース(オールスチール)三箇 四八圓〇〇 アサヒ商會
△粘土版(フールスカツプ大、外附屬品一式)八箇 一二三圓二〇 アサヒ商會
△鏡(四尺、二尺九寸)二箇 四二圓〇〇 品川洋行
△時計(クコーム一六型、ウオルサム)一四箇 九六圓〇〇 森洋行
△フイルム(手札型、コダツク)一〇ダース 二八圓五〇 木村洋行
△コムマツト(ピラミツト製)一一枚 一四圓〇〇 大同公司
△自動車用刷毛、一二〇箇 九八圓五〇 大同公司
△輪轉謄寫機(其他附屬品)一臺 一六五圓〇〇 アサヒ商會
△英文タイプライター、一臺 五八〇圓〇〇 日本タイプライター
△英文タイプライター、一臺 五七〇圓〇〇 昌和洋行
△金庫(旭金庫製)一箇 一三五圓〇〇 權太商店
△滿文タイプライター(改良シー、エル)一臺 三七〇圓〇〇 日本タイプライター
△邦文タイプライター(改良シー、エル)一臺 三六〇圓〇〇 日本タイプライター
△乘用自動車(一九三三年式五人乘)一臺 六〇七二圓〇〇 公懋洋行
△ジヤツキ(五臺) 四二圓五〇 鳥羽洋行
△空氣ポンプ(手押式)五個 一三圓五〇 同
△ボツシユホーン(ドイツロバート製)五箇 二三二圓五〇 大同公司
△カーペツトスヰパー、一箇 一八圓〇〇 山葉洋行
△自動車修理、一輛 一〇圓〇〇 大同公司
△同、一輛 九五圓〇〇 同
△同、一輛 一七圓〇〇 同
△同、一輛 九五圓〇〇 聯營汽車公司
△同、一輛 一二圓〇〇 同
△石炭酸、一〇瓶 一〇圓五〇 太陽堂
△炭疽血清(五〇〇cc)一本 一八圓〇〇 井上誠昌堂
△製圖器(カンパス、ニユートン製)一箇 二四圓〇〇 伊藤商店
△和紙(キカイインキ止美濃紙)二丸 四〇圓〇〇 鮎川洋行
△和紙(キカイインキ止)一丸 一九圓〇〇 同
△土地臺帳カード、二〇〇〇枚 三二圓〇〇 世界堂
△外國旅券及外人入境及施行細則、一、二〇〇部 一〇五圓〇〇 川口印刷所
△長期商租土地利用計畫認可書、二〇〇〇枚 一二圓八〇 近澤洋行

工事落札

△首都警察署衞生科化學實驗臺新設工事 (開札)三十日午後四時 一三八圓五〇錢 宅見工務所
△首都警察署衞生科給排水増設工事 (開札)三十日午後四時 一八八圓〇〇錢 島松商會
△參議府防蠅網戸新設工事 (開札)一日午前十時 八五圓二五錢 松浦組
△立法院各事務室防蠅網戸新設其他工事 (開札)一日午前十時 二四八圓六〇錢 松浦組

鮮魚小賣相場

品名	價	品名	價
活鯛	一〇〇	氷鯛	八二
小鯛	五五	カツオ	六〇
ヒラス	五五	サハラ	四五
スズキ	四五	サバ	二八
アジ	三〇	星カレイ	三一
ヒラメ	四〇	トビウオ	二六
ムツ	二〇	コチ	一三
カナガシラ	一七	ホーボー	二六
甲イカ	七五	水イカ	八五
イセエビ	一一〇	車エビ	八二
カニ	一八	ハモ	五〇
アワビ	一〇〇	シタミ	一〇〇
カマボコ	一〇八	シビ切	九〇

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第九十五回

虎穴に入る（三）

いつたん口をつぐむだ典膳は、さらにまた言葉をつづけた。

『イゲレスは、さらに長州をろう絡し、佐賀を手に入れ、土佐にまで手をのべんとしてゐる。いまに南方一圓がイゲレスの手中に歸し東北の親藩を手頼りとする徳川と天下わけ目の戰ひをなすに至るは必然のことでござる。何しろ薩摩や長州の背後には強國イゲレスがある。たうてい衰運の徳川に勝目があらう道理があるまい』

『うむ……』

左京は、若いだけに直情で、言葉巧な典膳の一言半句にも引入れられてしまふ。武七郎も腕こまぬいて聞き入つてゐるが、さすがに相手のはらの底に探りを入れるだけの落着きと準備があつた。

膝をすゝめる。

『で、その幕府方の危急を見るにしのびず、かつはイゲレスの悪企オロシアの暴戻を憎み、フランス國は東洋艦隊をもつて幕府に加勢し、一は南方諸藩の蜂起をおさへ一は荒わしの南下に備へて、徳川幕府の永續につとめ、ひいては日本國の安泰を圖らうといふのがフランスの意向でござる。なんとこの仁義を素直に受けられぬかな』

典膳は、親旗本の經歴をわすれ通譯官の地位をわすれ、フランス國の代表顔して得々と說き來たつたが、こゝでふたゝび口をつぐみ胸を張つて、じいッと兩名の顔色をうかゞつた。

『なるほど、それがフランスの意向でござるか。なるほど、徳川幕府の危急を救ふ代償として、いや

『ところが、徳川幕府の危急はそれだけではない。過ぐる嘉永六年オロシア軍艦が蛤剌土島の久春古丹を襲ふて以來、當蝦夷地西海岸の各所も、事ごとに不安を感じてゐるではござらぬか。ことに、北方根室場所に至つては、その被害もおびただしいと聞く。さすれば幕府は、いや日本國は、南北より恐ろしき虎狼に襲はれ、今や危機にひんしてをるのぢや。そこで……』

『まだござるか』

そこで、救ひ手である。危急の徳川に手を貸して暴戻なるイゲレスの出鼻をくじかうといふのがフランスぢや』

『……』

『どうぢやな、おわかりか。イゲレスが島津を煽動して南方一圓を騷がせようとするその大陰謀に備へるため、東北の親藩は結束して徳川幕府を守るだらうが、それだけでは、どうも心許ない。すなはち北方の荒鷲オロシアに備へる事がお留守に相成る』

『……』

いつのまにか、左京、武七郎兩名は、典膳の話に釣られて熱心に

その代價の手付としてフランス艦隊の假根據地に一先づこの高島を借りたいといはれるのだらう。だが、それはちと本末を顛倒した交渉ではござらぬかな』

武七郎はいつた。

『はてな、本末てん倒とは？』

『つまり、そのごとき重大問題を何故に幕府の要路に開陳せぬのぢや。すくなくとも、箱館奉行に何故それを述べぬのぢや。われ等がフランスの心底を疑ふのはその點である』

『いや、それはいけぬ。江戸へのぼつて幕府要路に訴へても、かの老中たちの石頭は、せつかくの忠言も一向に通ぜぬ。また箱館奉行へ會談せんとするも、やはり、それイゲレス、オロシア、メリケン國の軍艦が構へてゐては、姑、小姑の口がうるさい』

『しかし、當高島出張番所では徹底いたさぬよ』

『いや、小官、只今申上げたのはけつして高島番所の役人としての貴殿たちではなく、御兩所を松前藩の相當の人物と見込んだからぢや』